

3

友だちとの
関係が良好に

子どもが人間関係を学ぶ場は、保育園や幼稚園、小中学校だけではなくありません。家庭の中にも学ぶ場があります。それは親子の人間関係です。

子どもは、親とのコミュニケーションの中で人間関係を学びます。親の気持ちを伝えることや、子どもが何気なく使った言葉の意味を子どもに教えることなどを通して、相手の立場を意識することの大切さを学んでいきます。その積み重ねが友だちなど相手の気持ちを考えることなどにつながり、スムーズな友だちづきあいに発展していくのです。

より良い「子どもとの
コミュニケーション」3つのコツ!!

1

子どもの話を聴く ⇒ 子どもの心に寄り添う

今日ね、
持久走の練習が
あったんだけど…
クラスで
一番遅かったの。



頑張ったのに
残念だったわね。 **共感**

今度一緒に
練習しようか? **提案**

皆さんは子どもに結果を求めすぎていませんか?子どもの失敗は、子どもの成長にとって大切な体験になります。もちろん子どもにも苦手なものはあるでしょう。もし、子どもが苦手とするものに果敢にチャレンジしていたら、たとえ上手にできなくても努力したことを認め、次の行動につながるような言葉をかけてあげたいものです。

2

話すときの表情を
明るくする

言葉以外のコミュニケーションも大切にしたいものです。例えば…

話すときには笑顔

話すときは目を合わせる

子どもとの距離を近づける

相づちをうつ

身体をふれあう

声のトーンを上げる

3

ちょっとした一言をかける

「おはよう」「えらいね」「ありがとう」「よく頑張ったね」…
これらの言葉は子どもを嬉しくさせるだけでなく、子どもの自己肯定感をも高めます。

おはよう



自己肯定感

「自分は大切な存在だ」「自分は必要とされている」「自分は愛されている」「自分には価値がある」という気持ちをもつなど、自分が大切な存在であるという自己評価のこと。自分に対する自信であり、生きるエネルギーとなる非常に大切なものです。